

2013年9月2日 発行

古着伝言板



〒232-0017

横浜市南区宿町 2-40 大和ビル 101

Tel. 045-710-6507

Fax. 045-710-6508

ホームページ:<http://www.fiber.jp>

発行：ファイバーリサイクルネットワーク

—これからも一緒にファイバーリサイクルネットワークの活動を！—

「FRNの代表のバトンを渡されて・・・」



去る2月28日(木)まいたエコサロン会議室において2012年度「FRN 報告会」を開催しました。

1部では2012年度の活動報告、会計報告のあと、2013年度の活動計画と予算が読み上げられ、昼食後の2部では中区女性フォーラム実行委員会の嶋田昌子さんの横浜の衣文化についてお話がありました。

報告会の中で前代表の服部孝子さんから代表のバトンを渡され、FRNからお花を贈りました。

そのバトンを渡されてから既に半年が経過してしまいました。

毎月どこかの地区では回収が行われ、4月「春のリサイクルきものフェア」、6月「20周年記念誌発行」7月「夏のリサイクルきものフェア」、「大岡小学校へ和布講習」と目まぐるしく活動は進められています。

今年の6月でFRNは22年目の活動に入りました。市民と故繊維の回収業者が同じテーブルに着き、「古布・古着」を回収する活動を進めてきました。

故繊維を媒体にしてコミュニティーが出来、コミュニケーションすることで活動がより広がってきました。その大きな広がりの一つが秋で30回を迎える「リサイクルきものフェア」と、8回を終えた「夏のリサイクルきものフェア」です。

運営委員や実行委員を含む多くのボランティアの皆様のおかげでFRNは成り立っています。

前代表から受け継いだバトンが、これから三年先、五年先を見据え、FRNの活動が変わりなく続いて行くように努力したいと思います。ご協力を宜しくお願い致します。

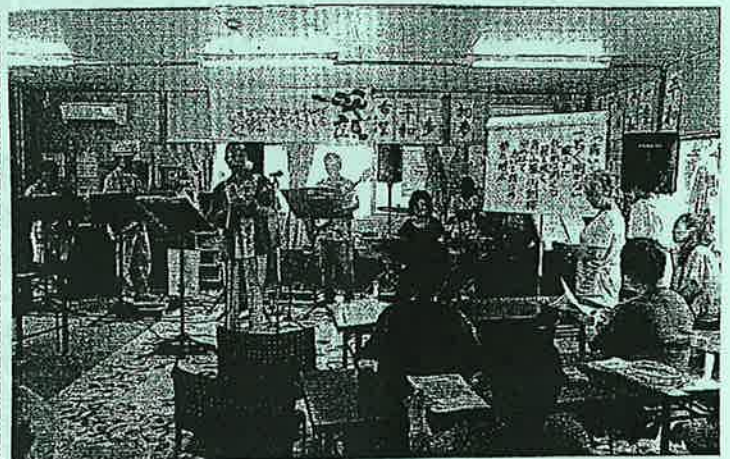
赤岡 清子

「春フェア」「夏フェア」の支援先

*5月21日 44,500円

*8月23日 23,600円

マル災品(災害支援品)の売上げを《あっちこっち》“宏きな樹”に支援しました。“宏きな樹”とは、2011年東日本大震災があった夏から月に一回のペースで宮城県七ヶ浜町の仮設住宅に住んでいる方々を訪ね音楽と手作りのお菓子で笑顔を届ける「コンサート&カフェ」を行っている中区に拠点を置いている団体です。地元の団体なので活動状況も目に見え、先日(8/23)のきもの実行委員会で近況報告をしていただきました。



宮城県七ヶ浜町の仮設住宅における「コンサート&カフェ」

春のリサイクルきものフェア

2013年4月23日(火) かながわ県民センターで開催

「きものフェア」では会場作りを担当しています。準備と片づけの様子を書いてみます。実行委員18名とアルバイトの男性3名が荷物を送り出す事務所組と会場組に分かれてスタートします。会場のフロアは着物を吊るすハンガーラックと帯・小物等を並べるワゴンで構成します。ハンガーラックは洋服用の高さが基準なので、丈の長い着物は裾が床に着いてしまうものもあり、まずは汚さぬようシートを敷く事から始めます。ストック置き場・会場の境目にはパネルを立てます。会場の備品なのですが、不具合が多く組み立てには苦労しています。ハンガーラックを目いっぱい高い位置に設定し、フロアの下準備を終えたら事務所からの荷物を待ちます。商品などがカゴ車16台に積み込まれ、到着トラックから会場内迄運ぶ力仕事はアルバイトにお願いしていますが、つい私達もカゴ車を押ししたりして手伝ってしまうのです。玄関の出入りの人達に気遣いしつつ力いっぱい、スロープを3人がかりで押し上げています。そして事務所で荷物を積み出したメンバーが到着、風呂敷をほどきハンガーに着物を吊るしていくと華やかな迷路のように会場が埋まって行きます。

ワゴンの中に商品が入り色が溢れてきて、毎回の事ながらここまで来るとホッとします。定着してきた「マル災品」が目立つように工夫をしたり、会計への導線、アンケートを取る場所の位置など、現場で確かめながら進めています。実行委員も長く携わっている人ばかりなので、手際よく事故もなく準備できるのだと皆で自負しています。

あと片付けも又、ひと仕事。残った700枚程の着物をきれいに畳んで10枚ずつ風呂敷に包みます。実行委員とボランティア40名余りで約1時間を目安に、たたんで、たたんでカゴ車に積み、吊るしていた800本程のハンガーも又束ねて箱におさめる。カゴ車に積み終わり、トラックに積み込んだら、メンバー数人は地下鉄で事務所に戻ります。今日の仕事を終えた荷物を倉庫の定位置に納めて、長い長い準備を含め二日間が終わりとなります。

井上 双美



会場設営中

ついカゴ車を押ししてしまう!

秋のきものフェア

ファイバーリサイクルネットワーク
第30回

リサイクルきものフェア

きものにやさしく
きもの大切さ!

日時 2013年 会場
10月22日(火) かながわ県民センター
10:00~15:30 1F 展示場
(入場は15:00まで)
当日会場入り口で整理券配布

ファイバーリサイクルネットワークの回収・寄付で集まった、きもの、浴衣、帯、はぎれ、刺繍小物、リメイク品の展示販売をいたします。たくさんのご来場お待ちしております。

収益の一部はF/RN基金として、国内外支援に使わせていただきます。
当日は着物の寄付を受け付けております。
会場内へのカートの持ち込みはお願いいたします。

横浜駅西口徒歩5分

今回のリサイクルきものフェアは2014年4月10日(木)を予定しています

主催

ファイバーリサイクルネットワーク 住所:横浜南区保町2-40 大丸ビル101
Tel: 045-710-5507 Fax: 045-710-8508 HP: <http://www.fiber.jp>

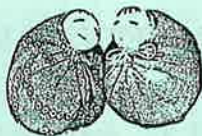
夏のリサイクルきものフェア

2013年7月2日(火)3日(水) 男女共同参画センター横浜南(フォーラム南太田)で開催



夏フェアミニ講習会

今回の講習会は「姫だるま」と「熱帯魚」どちらかを選択して作っていただく様にしました。初日は買物より講習が目的で来られた方が多く、立ったまま講習を受ける方まであり用意した材料も足りなくなり慌てて補充するほど盛況となりました。午前中に熱帯魚を作りそれをブローチにして胸に付け、午後には「姫だるま」に挑戦する方もいっしょに皆さんに本当に喜んでいただけていると感じました。又子供さんも熱帯魚を楽しそうに一つ一つ丁寧に作り、完成した時の笑顔には心が和みました。講習会の会場も今回は窓側で明るくテーブルの配置も良かったと思います。ただ参加者の方より、もう少し「しみ」「よごれ」のない布をとという意見がありました。今後の講習会には気を付けて行きたいと思います。



石井ヒサ子
工藤 幸恵
鈴木ケイ子



久しぶりのさき布ぞうり講習会

FRNとして「さき布ぞうり」講習会はしばらく行っていませんでした。

「布ぞうり」ブームの時には、ちょっと作ってみようかな?と講習会に参加される方が大勢いました。参加はしたが意外と難しく根気があるので、一度作ってそれで終わりという人もいました。

今回の講習会の参加者は6名でした。「さき布ぞうり」を愛用している人は、購入するには意外と価格が高く自分で作りたいと思い講習会に参加しましたという方もいました。

「夏フェア」に参加して

「春、秋のフェア」には何度か参加させていただきましたが、「夏フェア」は初めてでした。

去年は客として来ましたが、時間帯もあったのでしょくかゆったりと見て回れ、小物作りの講習にも参加させていただきました。今年もそのような雰囲気かなあと思いながらきましたが、会場前から大勢の方が入口で待っていて「秋フェア」と変わらない様子で、「夏フェア」も定着してきたと思いました。リメイク品だけでなく、可愛い小物も見るだけで楽しかったです。私は1日だけの手伝いでしたが、2日間出られた方や、実行委員の方々は3日間出ていっしょやるとのこと、本当にお疲れさまでした。

川崎多摩区菅 渡辺佳織

作り始めてみると皆さん熱心で、つま先、鼻緒、かかとの部分を繰り返して作っている人もいて、和気合い合いと予定の時間2時間30分で一足を編みあげました。「忘れないうちにもう一足作る」と参加者全員材料を買って帰られました。

黒柳 市枝



7月12日(金)大岡小学校6年2組33名の生徒と熱帯魚(3匹一連)作りを行いました。大岡小とのコラボ(環境学習)は今回で3回目になりました。担任の先生の話では、「4月から、一度利用し、使わなくなったものを、もう一度生かした物作りを学習して来ましたが、子供達も、先生自身も行き詰まり協力してもらえないだろうか」と来所されました。FRNの活動や取り組んでいることなどを説明し、「子供たちがリサイクルに興味をもち、物を大事にする気持ちを大切にしてほしい!」との思いで協力することにしました。

子供達もFRNがどこで、どんな活動をしているのかを見学したいと6月12日に来所し、着物の種類、大人、子供用、季節によっての違い等々に興味深々。そしてどんな物を作りたいかという問い掛けにも気もそぞろ・・・、帰校してから話し合うということで1時間30分大騒ぎして帰って行きました。

夏休み前に6~7種類の作品を作りたいとの希望がありましたが、7月12日に行う3日前まで学校から連絡が来ないため、FRNとして今回は一種類(熱帯魚3匹一連)をクラス全員で取り組むと云うことで調整を行いました。

当日は、自分達の思い通りの作品作りでない部分もあってか最初是中々スムーズにはいかないグループもありましたが、完成近くになれば、やはり楽しさ、うれしさはそれなりにあった様子で早く終わった子は、友達の手伝いをする子などもいて、何とか午前中で完成!FRNからは講師として5名が参加、とにかく暑い日でダウン寸前でした。もう少し子供達と話し合いをし、取り組めたらと心残りを感じた一日でした。

大木 麗子

20周年記念誌の編集に携わって

最初は急にこのような企画に携わることとなり驚きと戸惑いでした。しかしFRNの最初の10年を知らない私にとっては、原稿を起こして行きながら、皆様に感心、感動、感謝でとても学ぶところが多かったです。また継続して行く為の問題点も見つかったと思います。それらを拾い上げ、且つ他方面にも目を向け、次の10年に向けて頑張りたいと強く思いました。

編集の部分では金沢地区の安井さんや旭地区の志澤さんが親切に教えて下さり、締め切りまでの3日間は長谷川印刷さんが見るに見かねて色々手を貸して下さい、何とか形あるものに仕上がる事ができました。ご協力頂戴いた、多くの皆様に「本当にありがとうございました」です。

室田 美和子

設立20周年記念誌訂正と削除のお願い

- ・9ページ・・・「FRN基金」として寄付してします。をしていますに
- ・14ページ・・・20周年記念の会の第2部講演:「横浜の衣文化」
講師:嶋田昌子を削除

ファイバースイクルネットワーク(FRN)は法人格を取っていませんがNPO団体です。行政や企業からの援助などは受けず、経済的に自立している団体です。

